

書名 項目	<h1>新編 新しい 生活</h1>	2 東 書
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</b>            ○具体的な学習活動に即し、生活上必要な安全やマナーに関する習慣や技能の習得を図れるように、所々に「やくそく」が同一場所にあり、「かつどうべんりてちょう」や、「ちゅうい」などのマークが配置されている。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ○「見付ける」「比べる」「たとえる」など、気付いたことを基に考えるための多様な学習例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品で示されている。            ○思いや願いを実現していく学習の過程で、児童が思考・判断・表現している姿が身近な写真で表したり、挿絵や吹き出し、表現作品などで示されたりしている。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ○思いや願いを実現する活動を繰り返し、自分自身の成長や満足感、成就感などの手応えを感じることで、次の活動や自分の生活に生かそうとしている児童の表情豊かな写真やイラスト、吹き出し、表現作品などで示されている。         </p> <p> <b>＜具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫＞</b>            ○単元の扉に、児童の活動場面の写真を掲載し、活動への意欲を引き出すように工夫されている。小単元の初めには、問いかけの形の言葉を示し、対象に直接働きかける活動へと児童を促す構成になるように工夫されている。            ○表現方法として、学習カードを中心に、折り畳み絵本、新聞、ランキングなどの方法が提示されている。学習カードの書き方のページには、注目すべき所や表現のポイントが書いてあり、それを基に表現し、考えることができるように工夫されている。            ○「学びをふかめるコーナー」では、児童が表現・交流活動を行い、気付きを関連付けて、より質の高いものとする姿・過程が例示されている。「主体的・対話的で深い学び」を実現している姿が、登場人物が成長していく挿絵で具体的に示されている。         </p>	
資 料	<p>○上巻末の「いきものずかん」では、季節ごとに実物大の動植物のイラストが掲載され、下巻末の「かつどうべんりてちょう」では学習の仕方が紹介されている。</p> <p>○QR コードで、動画、クイズ、図鑑などを見ることができる。</p>	
表記・表現	<p>○巻頭にはスタートガイドが付いており、他教科へつながる学びが教科のマークで記載されている。</p> <p>○UDフォントを使用したり、色覚特性に適応するようにデザインしたりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がなされている。</p>	
総 括	<p>○活動のめあてとその活動で育成すべき資質・能力を示したマークを組み合わせることで、指導と評価の一体化が図れるように工夫されている。</p> <p>○写真が豊富で児童の身近な姿や様々な表現方法により、具体的な活動イメージがつかめるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>新版 たのしいせいかつ</h1>	4 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大日本</span>
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;                      ○「がくしゅうどうぐばこ」では、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるようになっており、「やくそく」では、安全に関する約束や、マナーに関する技能の習得ができるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○活動の流れを把握し、自ら思考できるように、見開きページごとに児童自身に考えさせるための投げかけ（課題）が示されている。                      ○言語活動（話形やことば）の紹介があり、どの児童でも豊かに表現できるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○活動後の振り返りから、児童の思いや願いを基に次の活動へとつながる流れを意識できるように紙面が工夫されていたり、生活科の活動がその後の自分の生活に生かされていく場面が示されたりしている。                 </p> <p>                     &lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;                      ○活動場面の写真やイラストを大きく掲載し、児童の興味・関心を刺激し、活動への意欲や期待を引き出すように工夫されている。カードやビンゴなどの書き込み欄を設け、児童が楽しみながら活動を進めることができるように工夫されている。                      ○表現方法として、学習カード、絵日記、スライドショー、ペープサート、図鑑やパンフレットなどの方法が提示されている。表現する活動の始めには「くらべる」「たとえる」などの表現の例が表記されており、参考にできるようになっている。                      ○友達との伝え合い、クラスでの話し合い場面が繰り返し取り上げられ、児童が気付きを共有し考えを深めていく姿が例示されている。児童がかいたイラストや文章、教師の板書など、学び方や表現の仕方が写真や絵で掲載されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○QR コードでは、動画、図鑑、料理のしかたなどを見ることができる。                      ○本文中や巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、季節の植物のイラストや、学習の仕方や学習を生かした活動、海外の文化について紹介されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○毎時間ごとに学習の振り返りを、気持ちマークを使って表すことができるように工夫されている。                      ○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、配色を工夫したりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○各活動単位で学習カードや作品など、児童の表現物が例示されており、学習評価の参考となるように工夫されている。                      ○「せいかつことば」や「きらきらことば」など、人との関わりがより深まることを促す言葉を紹介するページが設けられ、語彙力を豊かにしたり、向上させたりする工夫がされている。                 </p>	

書名 項目	<h1>しょうがっこう せいかつ</h1>	1 1 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学 図</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>          ○「ものしりノート」は、学習体験や知識が広がるよう構成されている。「学び方図かん」では、活動の基礎となる内容がまとめられており、マークを使って児童に考えさせ、身に付けさせたい技能の習得が図れるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○学習する対象となる人やものについて、学習の過程・種類が、写真やイラストで例示されている。          ○振り返りを重視した構成にしており、蓄積した記録を基に思考の流れを整理したり表現方法を考えたりすることができるように工夫がなされている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○単元冒頭では、対話的場面を配置し、子供自身の経験を思い出し活用できるよう工夫されていたり、「もっと」では、活動を通して自信をもった児童が、さらに意欲的に取り組めるような活動などが示されたりしている。</p> <p><b>&lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;</b>          ○各ページ左上に活動の内容を示し、その下の言葉で児童の思いや願いを表すように工夫されている。また、上下巻を通して登場する4人のキャラクターが、活動を通して、友達と関わり合いながら表現されている。          ○表現方法として、発見カードや作文、新聞、クイズや劇、紙芝居、ペープサート、ポスターなどの方法が提示されている。巻末には、カードや作文、新聞、手紙を書く時のポイントや例示され、活用できるように工夫されている。          ○児童が友達と伝え合い、対話的に活動し、学びを深める姿が示されている。下巻では、多様な表現でのまとめが例示されており、これまでの学習を基にして「できるようになった自分」を振り返れるように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○QR コードでは、動画や動植物の図鑑などを見ることができる。          ○本文中の「ものしりずかん」では、単元に合った動植物や施設などを、「ものしりノート」では、野菜の育て方やおもちゃの作り方などが紹介されている。</p>	
表記・表現	<p>○自ら進んで学べるように、イラストで活動の内容や活動の流れを表現したり、見開き右下に、次の活動を示唆するイラストが配置されたりしている。          ○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、目に優しく判別のしやすい色使いにしたりするなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がされている。</p>	
総 括	<p>○単元ごとに主となるキャラクターが設定され、対話の中で自分の考えを伝えたり、修正したりしながら、変容していく様子が表現されるように工夫されている。          ○見開きページをひとつの活動単位とし、願いをもち、主体的・対話的に活動し、伝え合い、振り返る構成となるように工夫されている。</p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	17 教 出
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;                      ○「やくそく」では、絵や写真、キーワードで安全に関する技能の習得が図れるように工夫されている。「学びのポケット」は、生活科と基本的な生活習慣や他教科との連携が意識できるような内容に工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○思考を促す吹き出し入りの児童の写真や挿絵が添えてあり、思考する視点が整理しやすくなるように工夫されている。                      ○表現方法の提示に加え、コラムとしてヒントコーナーがあり、多様な学習活動の中で思考する一助となるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○単元導入の「わくわくスイッチ」や、単元を貫く「はっけんロード」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付けながら、主体的な学びが展開できるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;                      ○小単元の初めには、児童の期待や疑問を問いかけの形で示し、言葉で活動を喚起できるように工夫されている。上下巻を通して登場する2人の主人公が活動する様子と教師の吹き出し言葉から、期待感をもって取り組めるように工夫されている。                      ○表現方法として、学習カード、ポスター、手紙、絵地図、蛇腹折りの絵本、クイズ、紙しばい、すごろく、ペープサート、歌や踊りなど、多様な方法が提示されている。巻末には記録の方法やポイントが載っており、参考にできるように工夫されている。                      ○絵地図がシンプルで、市・町の地域の実情に合っており、児童の参考になる。                      ○観察カードや新聞など、気付きを整理する方法が掲載されている。また、整理したことをグループやクラスで伝え合う活動が例示されている。特設の「何をかんじたかな」では、友達や教師と伝え合う内容や方法が示されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○QR コードでは、動画、ワークシート、デジタル図鑑などを見ることができる。                      ○上巻に「のはらざかん」がある。本文中の動植物の世話の仕方は、「学びのポケット」とリンクしている。また、「学びのポケット」では、他の学習と関連づけさせるとともに、学習の仕方が紹介されている。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○「はじめのいっぽ」や単元を結ぶ道で、学びの連続性がわかりやすいように工夫されている。                      ○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、判読しやすい配色やレイアウトにしたりするなど、全ての児童がわかりやすいように配慮がされている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○ページの上に見出しが配置されたり、生活科の目標から、子どもから引き出したい6つの力をサイコロのマークで示したりして、活動のねらいがわかりやすいように工夫されている。                      ○各小単元で最も育てたい資質・能力が「サイコロ」で示され、児童と教師が共に学習の「めあて」を把握できるように工夫されている。                 </p>	

書名 項目	<h1>せいかつ</h1>	26 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">信 教</div>
内 容	<p>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</p> <p style="text-align: center;">※見本本がないため、研究結果なし</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</p> <p>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</p> <p>&lt;具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫&gt;</p>	
資 料		
表記・表現		
総 括		

書名 項目	<h1>せいかつ たんけんたい</h1>	38 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">光村</span>
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;                      ○「どうしてだろう なんでだろう」のコーナーで、着目させたいポイントやルールについてイラストを使って示されている。「きをつけよう」は、赤字で示され、生活上に必要な習慣や技能が身につくように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○活動について気付いたり考えたりする児童の様子が吹き出し付きの写真や作例などで示されている。                      ○見開きページごとに、活動につまずいた時や試行錯誤する時に大切になる考え方などのヒントがあり、児童が考え、表現していく一助となるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○さまざまな価値観で考える児童の姿が、文章と絵で表現されており、協働的に学べるように配慮されている。振り返りでは、対話や多様な表現活動でまとめることによって、よりよい生活を送ろうとする態度を養うことができるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;                      ○各単元の扉ページいっぱい、学習材と児童の写真に掲載し、活動への意欲付けが図られるように工夫されている。活動に関するイラストのコーナーに掲載されているつぶやきが、児童の気付きを促すように工夫されている。                      ○表現方法として、絵やポスター、パンフレット、すごろく、ランキング、巻物、絵本、紙芝居やスライドショーなどの方法が提示されている。巻末には、記録の仕方やポイントが載っており、参考にできるように工夫されている。                      ○児童が、思考と表現を繰り返しながら、学びを深めていく学習例が示されている。また、児童がこれまでの活動を対話的な活動を通して振り返り、新聞やカードなどで気持ちをまとめるという段階が示されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○QR コードでは、動画やアニメーションなどを見ることができる。                      ○上巻末に切り離して使える「きせつのなかまたち」がある。小冊子で「ひろがるせいかつじてん」があり、学習の仕方や動植物などが紹介され、充実している。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○「ふりかえろう」をイラストを用いて全ての小単元に位置づけており、活動経験を振り返る手掛かりとして活用できるよう工夫されている。                      ○UDフォントの使用、カラーUDの観点からの配色の工夫、文字や写真を区別するために罫線を入れるなど、全ての児童が分かりやすいように配慮がなされている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○絵本作家のかき下ろしイラストを教科書の随所に掲載し、児童が一緒になって考えられるように工夫され、温かみのある構成にもなっている。                      ○学んだことを次の学習活動に活かすために、学習活動のページの見開きごとに振り返りの場が設けられている。                 </p>	

書名 項目	わくわく (いきいき) せいかつ	61 啓林館
内 容	<p>                     &lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;                      ○「びっくりずかん」では、季節ごとの行事や植物などを知ることができるように工夫されている。「こんなときどうしよう」や「学びのヒント」などのコーナーでは、基本的な生活習慣や生活技能、健康や安全に関する知識が身に付くように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;                      ○気付いたことをもとに考えるための学習活動について、児童が思考を働かせている姿が写真や挿絵で示されている。                      ○見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例が示されている。                 </p> <p>                     &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;                      ○「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えを感じ、次の活動への意欲が育まれるように工夫されている。                 </p> <p>                     &lt;具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫&gt;                      ○単元の扉ページを写真や問いで構成し、児童の意欲を喚起するように工夫されている。ページ右下にめくり言葉を設定し、活動の中で生まれた気付きや、次の活動への思いや願いを文字にして、意欲を高めるように工夫されている。                      ○表現方法としてカードやクイズ、付箋、絵や紙芝居、巻物などの方法が提示されている。巻末には、記録の方法やポイント、友だちと伝え合うための工夫が解説されており、予想や例えなど書く上でのヒントになるように工夫されている。                      ○グループやクラスで伝え合う、気付きをカードに書くなどの表現活動が、写真やイラストで例示されている。板書や机のレイアウトなど、授業中の教室環境を具体的に示し、児童が学び方を知る手掛かりとなるように配慮されている。                 </p>	
資 料	<p>                     ○QR コードでは、動画、スライドショー、ウェブリンクなどを見ることが出来る。                      ○上下巻の「がくしゅうずかん」では、学習の仕方が紹介されている。上巻巻頭に「すたあとぶっく」下巻巻末に「3年生へのステップブック」が設けられ、次学年の意欲を促している。                 </p>	
表記・表現	<p>                     ○紙面右下に「めくり言葉」が掲載されており、次の活動への期待がもてるように工夫がされている。                      ○UDフォントを使用したり、カラーUDの観点から、紙面の内容が判読しやすい配色やデザインにしたりするなど、児童が分かりやすいように配慮がされている。                 </p>	
総 括	<p>                     ○単元の流れをわかりやすく示すために、「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階構成になるように工夫されている。                      ○ICT端末や電子黒板などの ICT 機器を活用した学習活動の例を掲載し、教室外の体験と教室内の学びを一体化できるように工夫されている。                 </p>	